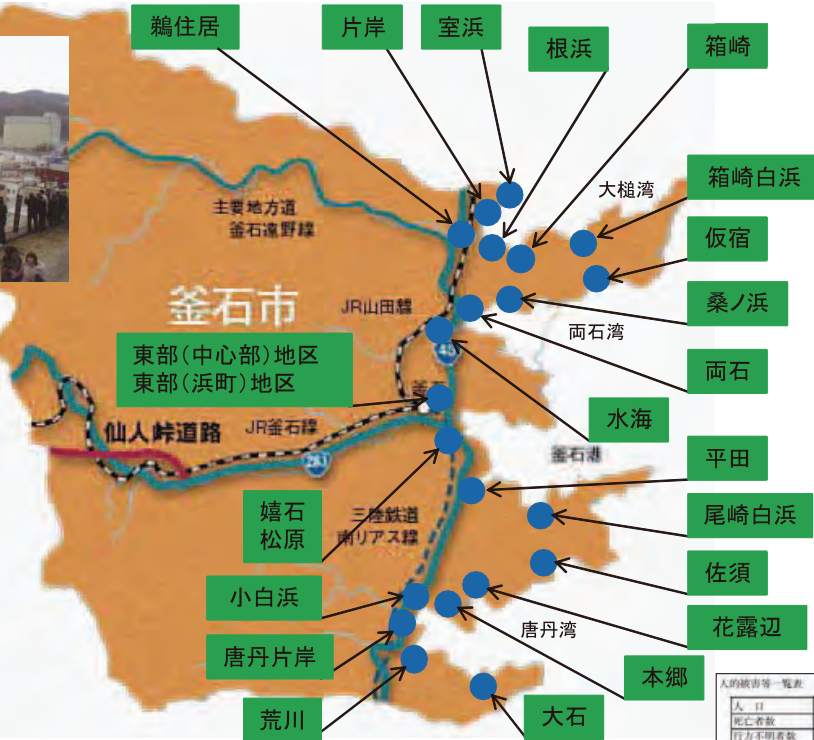


釜石市における復興まちづくり支援(1)

● 被災状況



当日、津波にのみ込まれる市営ビル(中央)



復興土地利用方針策定地区 (出典：釜石市復興まちづくり基本計画)



人口	39,996人	H23.2月末日住民基本台帳
死亡者数	885人	H23.11.17現在 安全元不明35人
行方不明者数	178人	H23.11.17現在
避難者数	0人	H23.8.10現在
(市内避難者)	9,883人	(最大) 988箇所 H23.8.17現在
避難者数	0人	H23.8.10現在
(市内除避難)	633人	(最大) 929施設 H23.5.9現在

※死亡者数については、釜石市で遺体収容されたもの
 ※行方不明者数については、市民から情報提供のあったもの

出典：釜石市復興まちづくり基本計画

● 釜石市の復興計画 (H23.12.22)

◆ 目指すべき釜石の将来像

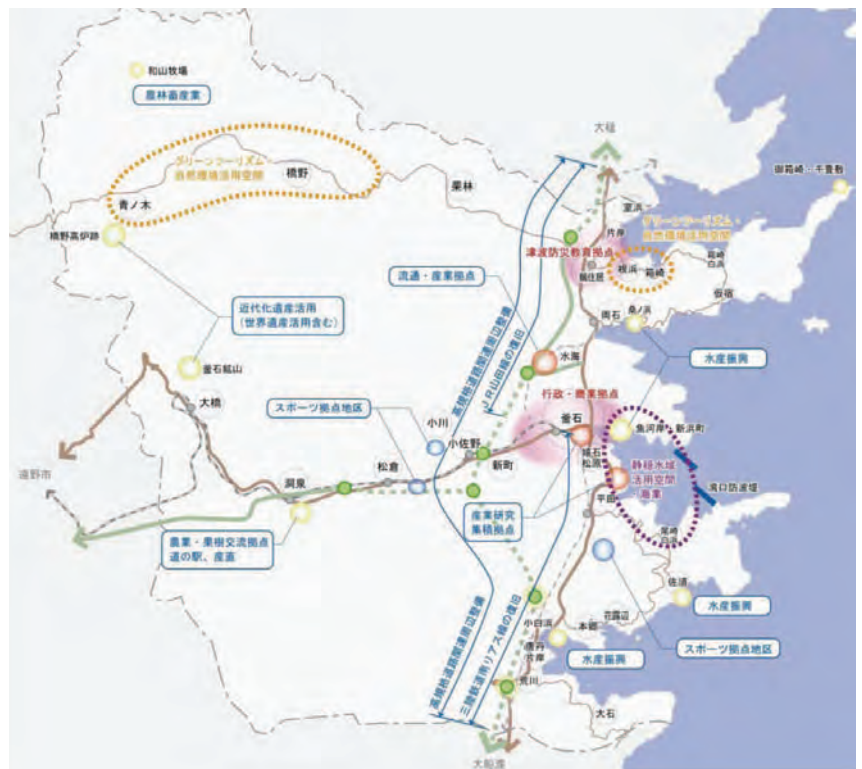
『三陸の大地に光輝き希望と笑顔があふれるまち釜石』

◎ 基本方針

- ① 災害に強い都市構造への抜本的転換
- ② この地で生き続けるための生活基盤の再建
- ③ 逆境をバネにした地域経済の再建
- ④ 子どもたちの未来や希望の創造

出典：釜石市復興まちづくり計画

< 目指すべき将来像 展開イメージ >



出典：釜石市復興まちづくり計画

釜石市における復興まちづくり支援(2)

● 釜石市復興まちづくりへのURの取組み

復興まちづくり実施に関する課題

- 市街地及び漁村集落の至るところで壊滅的な被災を受けている。
- 21地区の復興まちづくり事業を抱え、市人員体制のみでの実施には限界がある。

- H23.4.28～ 復興計画の策定等に係る支援要員を釜石市に派遣（1名）
- H23.10.1～ 釜石市へ出向で2名を派遣（うち1名は派遣からの切替）＜継続中＞
- H24.4.1～ 個別地区の事業化支援のため現地に専任チームを配置（5名）
- URは、まず、釜石市北部の拠点である片岸・鵜住居（うのすまい）地区の基盤整備及び南部漁村集落の花露辺（けろべ）地区の復興支援等を行う。
- 花露辺地区においては、災害公営住宅整備事業及び漁業集落防災強化事業等の連携による総合的な漁村集落の復興支援に取り組む。

片岸地区



出典：釜石市復興まちづくり基本計画

鵜住居地区



出典：釜石市復興まちづくり基本計画



出典：地区別土地利用計画（案） 釜石市ホームページより



出典：地区別土地利用計画（案） 釜石市ホームページより



花露辺地区

